

舌を巻く

だいぜつそう

## 27 大舌相

仏様の舌は、顔を覆い尽くすほどの大きな舌だそうです。

舌には「嘘をついたら閻魔さまに舌を抜かれる」や「二枚舌」という表現があります。いずれも舌を嘘や誠の表現として用いています。

よく法事などで読まれる阿弥陀経というお経の中には中盤に何回も「出広長舌相へんぶさんぜんだいせんせかい 説誠実言せつじょうじつごん」と出てきます。さまざまな仏様達が、その大きな舌ですべての世界を覆い、阿弥陀如来は素晴らしいと誠の言葉を述べられるところですよ。

人間が誠や正義にこだわると誰かを傷つけます。

「誠」の旗を掲げた新撰組。司馬遼太郎さんの「新撰血風録」は大好きですが、勤王派にはさぞ恐ろしい集団だったでしょう。

仏様の誠は誰も傷つけない平等の誠。大きな舌でそれを表します。



長生きいざや  
言うて女や  
見てる番組  
ためてがッデー  
茗住めいじゆう

# 仏様の三十二相

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しずつご紹介です。

深きこと 稲妻の如し

ほんじょうそう

## 28 梵声相

仏様の声は、稲妻の如く深く広く、清らかで聞くもの心地よく、心の琴線に触れ、わかりやすく、不快ではない、これが梵声相です。

地球上で一番声が大きいのは、おそらくクジラです。クジラの声は約3000kmも届くとも言われ、その多彩な音で、遠い仲間とのコミュニケーションの確認をしているようです。海中は光が届かぬ闇の世界。しかし、声でつながる世界をクジラは持っているようです。

過去はわかってても、一秒先はわからないが人生。一寸先は闇の中。暗中模索の今現在。しかし阿弥陀如来は、南無阿弥陀仏の声となって、私の所へ届いて下さる。これが梵声相です。

